委 員 会 会 議 録

（社）滋賀県トラック協会

会 議 名	平成２３年度（第７回）環境対策委員会
開催日時	平成２４年3月２１日（月）　１４：００～１６：４０
開催場所	滋賀県トラック総合会館　３Ｆ「研修室（１）」
出 席 者	委員１１名、事務局２名

協　議　内　容

定刻に開会。開会にあたり坂口委員長及び伊地智担当副会長から挨拶が行われた。
挨拶の後、早速、坂口委員長が議長となり議題協議に入った。

議　題

（１）　事業実施状況について

資料に基づき事務局から説明が行われた。

①各種事業報告

・アイドリングストップ啓発活動（計３回実施。延べ参加者数４４３名）
※平成２４年度からは本事業は廃止され、安全対策委員会にて各地域の交通安協等と協力して実施する春秋の交通安全運動として実施されることとなる。

・エコドライブ研修会（計６回実施。参加者数１１５名）

・エコドライブ委員会研修（１回実施。参加委員１１名）

②各種助成金の執行状況

・低公害車助成以外は対予算で、２０％～６０％の執行状況であった。低公害車助成の執行率は９６％と、ほぼ予算通りの状況であった。

（２）　平成２４年度事業計画・予算（案）について

①各種助成事業（案）

事務局より事業計画の原案が説明された。（前回委員会より変更点のみ説明。）

・低公害車助成は全ト協要領がまだ出ていない。これは、国の助成金との調整している状況からである。
滋賀県独自となるポスト新長期規制車両への助成は、現在実行されているエコカー補助金が終了となると補助金額が変更（金額アップ）することとする。これは、執行部で調整し、決定済みの案件であるので、本委員会では報告事項である。

・他の助成金は年度実勢額と同等で予算組みを行っている。

・新設置された環境に優しい経営促進助成は、他の環境認証への拡大は避け、グリーン経営のみをその助成対象（新規取得及び継続取得）とすることとする。

・植樹事業（トラックの日事業）はトラックの日事業予算より、環境対策予算へ移行

した。

・啓発グッズとあるのは、昨年度までのアイドリングストップ啓発ではなく、近畿トラック協会の環境キャンペーンの啓発品費用である。

・平成２３年度はトータル的に１５００万円削減した。

②エコドライブ研修会

平成２４年年度のエコドライブ研修会の実施方法について協議した結果、平成２３年度より２回少なくし、４回実施（４月開催・２月開催を削減）することとなった。また、各回の募集人員は２０名を基本とするが、２３名程度までゆとりを持たせて、出来るだけ多くの参加者を募ることとする。

さらに、募集方法は過年度の方法と変更し、各支部割り当て回を設定するのではなく、ドライバー研修と同様に、全県会員へ募集する方法とし、その募集方法は、「おしらせ」とＨＰで通知することとなった。万が一、参加者が少ない場合、環境対策委員の中で参加者拠出をすることも考慮し、参加募集締め切りを少し早めに設定することとする。

委員会研修としてのエコドライブ研修は、実施内容を検討し、平成２４年度も実施することとなった。

③エコプロジェクトの取り組み

東京都トラック協会では、現在５５６社、１３０００両で実施されており、実施５年間で平均５％の燃費向上、事故は３０％減少している。

本事業を実施するか否か協議されたとところ、滋賀県においての事業効果が不明であり、東京都だけが実施している現状から、他の地域がやり出してからでも遅くないのではないか、という意見も出されたが、業界として C02 削減を積極的に実施していく必要もあり、また、その結果を提示できる具体的な結果も必要であることからも、本事業を新事業として取り組むこととなった。

本事業は、４月からの実施ではなく、十分な準備期間を設けた上で、下期から実施していく方向となった。

（３）その他

５月２０日にクレフィール湖東にて実施される「エコ・セーフティドライブコンテスト～全国トラックドライバーコンテスト選考会～」の運営協力が安全対策委員会より求められている。求められている人員は４名である。

協議の結果、坂口委員長・嶋本副委員長・金沢委員・寺澤委員にて大会運営へ協力することとなった。

以上で議事が終了し、次回委員会開催日を決め、閉会。

■次回委員会

日　時　　平成２４年4月１６日（月）　１４：００～

場　所　　滋賀県トラック総合会館